

事業コード	H27-建-継-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(交通安全)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	歩道設置事業		班 名	道路環境・維持班 (tel) 018-860-2488
路線名等	国道282号		担当課長名	佐藤 和義
箇所名	鹿角郡小坂町手紙沢		担当者名	佐藤 朋章
プランとの 関連	政策コード	04	政 策 名	安全で安心な生活環境の確保
	施策コード	03	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	01	施策目標(指標)名	快適で利便性の高い道路環境の整備

1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ H28 (6年)	総事業費	3.6億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長L=780.0m 幅員W=6.5(12.0)m (2.50+1.50+3.25+3.25+1.50)					
事業の立案 に至る背景	<p>国道282号は、岩手県盛岡市から鹿角市・小坂町を経由し、青森県平川市までの延長L=124.2kmの主要幹線道路である。十和田八幡平国立公園を中心とした観光拠点を連絡する観光道路としての機能を有するとともに生活圏中心地域(花輪)へ連絡する幹線道路として、また、高速道路閉鎖時は代替機能を果たす重要な路線である。</p> <p>当該区間は大型車交通量が多い区間であるが、車道幅員が5.5mと狭小で、かつ歩道のない区間であり、大型車のすれ違いや歩行者の安全な通行に支障をきたしており、早急な通行空間の整備が必要な箇所である。</p>					
事業目的	<p>○通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)</p> <p>○大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援)</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	250,000	360,000	110,000		
	経費 内訳	工事費	181,000	257,000	76,000	土工計画(地盤改良等)の変更による。
		用補費	30,000	60,000	30,000	修正設計による補償物件数の増。
		その他	39,000	43,000	4,000	調査・設計委託費の増工による。
	財源 内訳	国庫補助	175,000	252,000	77,000	
		県 債	71,100	97,000	25,900	
その他		0	0	0		
一般財源	3,900	11,000	7,100			
事業内容	測量・設計 用地買収・補償 歩道工事	測量・設計 用地買収・補償 歩道工事				
事業の進捗 状況	<p>○平成26年度末時点で事業進捗率66%(用地進捗率85%)</p> <p>○一部(L=420m)供用済み。</p>					
事業推進上 の課題	○特になし。					
関連する計 画等	○小坂町総合計画「小坂町エコライフ・プラン」を支援する事業					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	<p>○用地交渉や他機関との工事調整に時間を要したため、事業期間を平成28年度まで延伸している。</p> <p>○道路拡幅部について地盤改良が必要になったこと、及び建設発生残土の搬出先の変更等の要因により、工事費が増額となった。また、修正設計の結果、補償家屋が増えたため用地補償費が増額となった。</p>					
事業効率把 握の手法及 び効果	指 標 名	歩道整備率				
	指 標 式	実績延長/道路延長				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	39.6 %	データ等の出典	道路課調べ		
	実 績 値 b	39.1 %				
達成率 b/a	98.7 %	把握の時期	平成27年4月			

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○県北部の地域間交流を支える道路で、バス路線に指定されている生活道路である。 ○小坂小学校・小坂中学校の通学路に指定されているほか、小坂・十和田の両高校の生徒の通学にも使用されているが、当該区間は歩道未設置であり、車道幅員も狭小(5.5m)であるため大型車等のすれ違い時に歩行者が危険にさらされている状況にある。	25点
緊 急 性	○東北自動車道通行止め時には代替路線として機能し、大型車の混入が更に増加する。 ○当該区間の死傷事故率が70.0件/億台キロ(県内41)と発生率が高い。	20点
有 効 性	○二次救急医療施設である鹿角組合総合病院や、高速ICおよび観光地へ直接アクセスできる。 ○ふるさと秋田元気創造プランにおける各戦略を支える横断的な取り組みの社会資本整備の推進として計画への貢献度が高い。	15点
効 率 性	○既設道路の拡幅がほとんどであり、新たな構造物整備の必要がないようにコスト縮減を図っている。 ○一部供用等を図り、効果の早期発現に努めている。	10点
熟 度	○小坂町および地元住民から、歩道設置要望が出されている。 ○平成27年度末には事業進捗率83%に達する見込みである(用地進捗率92%)。	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 優先度は高く、引き続き事業を実施すべきである。	85点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 交通安全事業（歩道）

事業コード (H27-建-継-04)
箇所名 (鹿角市小坂町手紙沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	12時間自動車交通量		4,000台/12h以上	10	10	7,079台/12h
			1,000台/12h以上	5		
			1,000台/12h未満	0		
	歩行者交通量		100人/日以上	10	5	通学路以外の場合
			100人/日未満	5		
			学童・園児 40人/日以上	10		
	歩道の連続性		学童・園児 40人/日未満	5	10	通学路の場合
			計画区間前後に歩道あり	10		
			計画区間前後の一方に歩道あり	5		
			計画区間前後に歩道なし	0		
	計			30	25	
緊急性	関連事業の有無		あり	10	10	小坂町エコライフ・プラン
			なし	0		
	事故状況（死傷事故）		歩行者の死傷事故あり	10	10	
			車両単独もしくは相互の死傷事故あり	5		
			事故の発生なし	0		
	交通安全総点検要対策箇所等		該当あり	10	0	
		該当なし	0			
	計			30	20	
有効性	交通安全指定道路		あり	5	5	
			なし	0		
	通学路指定		あり	5	5	
			なし	0		
	公共施設 医療機関、公民館、図書館等		あり	5	5	小坂小・中学校
		なし	0			
	計			15	15	
効率性	供用開始までの期日		3年以内に供用開始可能であり効果の出現が早い	10	10	
			供用開始まで4年から5年の時間を要する	5		
			供用開始まで6年以上と相当時間を要する	0		
	計			10	10	
熟度	地元の協力体制		事業に協力的	5	5	
			用地反対等の問題あり	0		
	地元住民・関係機関の意向		採択時と比べて特段の変化がない	5	5	
			採択時と比べて低下が見られるが改善の見通しがある	3		
			採択時と比べて著しく低下し改善の目処が立たない	0		
	進捗状況		進捗が順調で計画どおりの完成が見込まれる	5	5	
		多少の阻害要因があるが解決の見通しがある	3			
		阻害要因の難易度が高く進捗の目処が立たない	0			
	計			15	15	
合計				100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		